

うっ、うっ、うあ、は〜い

8月1日 神島区でかわかんじょうを実施

毎年8月1日の夕刻に、神島地区の狩野川で行われる夏の風物詩。暴れ川である狩野川の水霊を鎮め、水難者の供養や地区の安全を祈願するという、明治以前から続くと言われている地区の伝統行事です。

約3m^{たいまつ}、厚さ1mのイカダの中心に、高さ6mにもなる松明を立てて完成する“かわかんじょう”。イカダと一緒に川の中に入る若衆と、橋の上の子どもたちが「うっ、うっ、うあ、は〜い」の声を掛け合います。



8,000 発の花火が、見る人を魅了

8月1日 きにゃんね大仁夏祭りが開催

市内で3日間行われる花火大会の中で、最も多くの花火が打ち上げられるきにゃんね大仁夏祭りでは、狩野川大仁橋下流付近を会場に、およそ8,000発の花火が打ち上げられました。

夜空に舞い上がる大輪の花を見に、大仁駅周辺から狩野川堤防は、沿道を埋め尽くすほどの人でにぎわいました。また大仁駅前の歩行者天国では、多くの露店が出店し訪れた人々を楽しませていました。

2 日間にわたり千歳橋で花火大会

8月3日4日 狩野川花火大会(葦山・長岡)が開催

3日に葦山狩野川まつり2013、4日に伊豆長岡温泉戦国花火大会が狩野川千歳橋下流で開催されました。両日とも天候に恵まれ、浴衣や甚平などの夏祭り仕様に着飾った来場者は、花火を、ステージイベントを、おいしい食べ物を満喫していました。

河川敷に設けられた特設ステージでは、踊りや演舞、演奏などが行われ、夏の一大イベントを楽しみました。

▶酷暑の中、シャガリの演奏に励む南條区子供会



『狩野川の水質はきれい』を確認

8月6日 水生生物観察会を開催

川の水質や生物を学ぶ水生生物観察会を、狩野川中流域で開催。狩野川の生き物に興味を持った子ども24人が参加しました。

子どもたちは、講師の指示に従いながら、珍しい生物を発見しようと、タモを片手にたくさんの生物を採取しました。きれいな水質にしかない『ヒラタカゲロウ』などが見つかると、狩野川の水質は『きれいな水』ということを確認しました。



猛暑でプールも連日盛況

7月8日 広瀬公園水泳プール

広瀬公園水泳プールが、7月13日から8月31日まで開園し、多くの市民でにぎわいました。今年の夏は各地で猛暑となり、真夏日が続いた8月中旬には来場者が10,000人を突破しました。

毎年人気の流水プールでは、おおはしゃぎする子どもたちの姿と、子どもたちの面倒をみながら、つかの間の避暑を楽しむ大人たちの様子が見られました。※駐車場の台数が少ないため、お客様にご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

狩野川にカヌー愛好家が集結

7月20日21日 カヌーフェスティバルが開催

狩野川の人気イベント『狩野川カヌーフェスティバル2013』が、2日間にわたり、狩野川千歳橋付近を中心に行われました。

20日の大門橋〜さくら公園の川下りコースは、約90人の参加がありました。21日には、カヌーによる川下り以外にも、ゴムボートやターザン飛び込みなどを体験。子どもから大人まで、多くの参加者で盛り上がりました。



約70個のスイカを無料配布

7月28日 田中山スイカ祭が開催

この時期、恒例となる田中山スイカ祭りが、田中山公民館で開催されました。夏の猛暑の中、スイカの“涼”を求め、例年以上の来場者で盛り上がりました。

切り分けられたスイカを無料でふるまう『スイカ食べ放題コーナー』では、子どもからお年寄りまで、口いっぱい甘いスイカをほおぼっていました。ほかにも、スイカや地場産品の販売などが行われました。

◀甘いスイカを求め手を伸ばす来場者



『でろ、のたんぼにダイブ』

7月28日 泥まみれイベント“でろ祭”が開催

休耕田で泥遊びを楽しむイベント『でろ祭』が、江間イチゴ狩りセンター周辺の休耕田で行われ、子どもから大人まで、泥との触れ合いを楽しみました。

大会のメイン競技『でろRUNアタック』には、県内外から個人・チーム合わせて109人が出場。選手は、山あり水たまりありの特設コースを、イチゴの形をしたビーチボールを手に、全身泥まみれになりながらゴールを目指しました。